

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

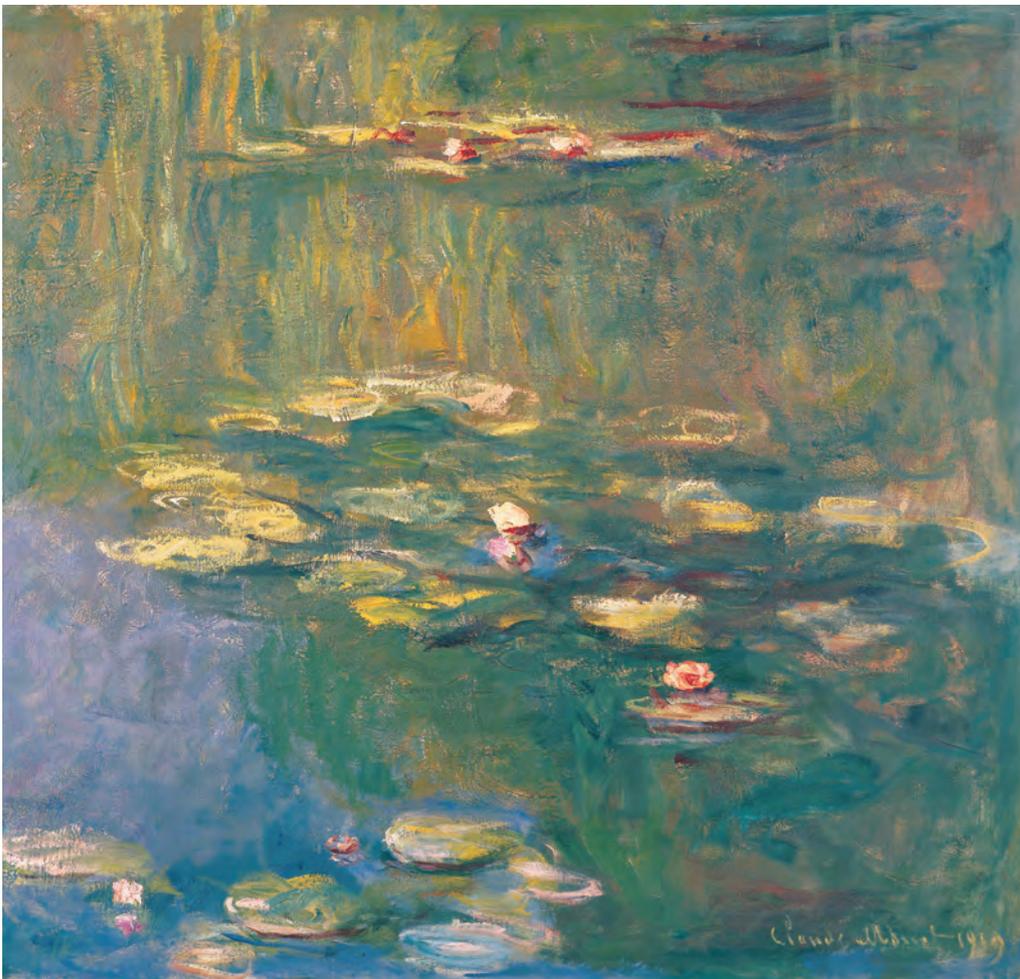
兵庫県立美術館

夢見るフランス絵画

印象派からエコール・ド・パリへ

The Dream of French Paintings
From Impressionism to Ecole de Paris

2014 4.12^土 → 6.1^日

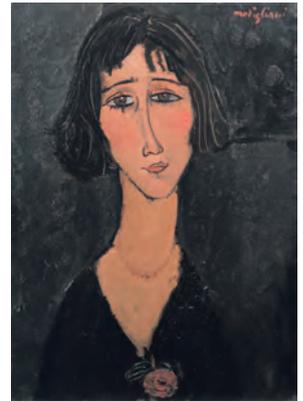


クロード・モネ 《睡蓮のある池》1919年

ある収集家のフランス近代絵画コレクションから16作家による71点を紹介する展覧会です。モネ、セザンヌ、シスレーといった印象派の画家の描く美しい大地の眺め、モディリアーニ、キスリング、藤田嗣治などエコール・ド・パリの画家たちが愛し描いた哀歎に満ちた女性たち、ヴラマンク、ユトリロらの描く孤独な路上の風景など、3つの章に分けて展示します。私たちが夢と憧れに誘うフランス近代絵画の魅力を、今一度お楽しみください。

観覧料 一般 1,300(1,100)円、大学生 900(700)円、高校生・65歳以上 650(550)円、中学生以下無料
 * ()内は前売料金及び20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし)
 * 障がいのある方とその介護の方1名は各当日料金の半額(65歳以上除く)

阪神・淡路大震災
20年展



アメデオ・モディリアーニ
《パラをつけた若い婦人》1916年

関連イベント

■ 記念講演会

「フランス近代絵画の黄金時代：印象派からエコール・ド・パリへ」

講師：千足伸行（成城大学名誉教授）

5月4日（日・祝） 14:00～（約90分）

ミュージアムホールにて 聴講無料（定員250名）

■ 学芸員による解説会

4月19日（土）、5月3日（土・祝）、5月17日（土）、5月31日（土）

16:00～（約45分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

■ ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～（約15分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

■ こどものイベント 「"アブラエ"ッテナアニ？」

5月5日（月・祝） 10:30～15:30

アトリエ2にて

要申込（4月5日10:15～受付開始）

要参加費（定員30名、小3から中3まで）

お問い合わせ・お申込み：こどものイベント係

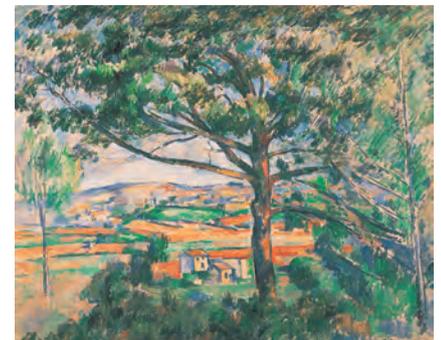
TEL 078-262-0908

■ おやこ解説会

5月24日（土） 13:00～（約30分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

※関連イベントの詳しい情報は当館ホームページをご覧ください。



ポール・セザンヌ 《大きな松と赤い大地(ベルヴェ)》1885年頃

展覧会

次回特別展

阪神・淡路大震災 20 年展

東京・ソウル・台北・長春
—官展にみる近代美術

6月14日(土)~7月21日(月・祝)



陳澄波(チェン・チェンポー)《初秋》1942年 財団法人陳澄波文化基金会

20世紀前半の東アジアの近代美術を官設の公衆美術展(官展)という切り口から考える初めての展覧会です。韓国や台湾の研究者・学芸員との共同企画であり、各地の所蔵者の理解と協力により実現しました。東京、ソウル、台北、長春で開かれた官展の出品作や、審査員をつとめた作家の作品を中心に、各国・地域の近代美術の諸相を約130点の作品で紹介しします。



チェン・ウソン(張過聖)《牧羊》1935年 韓国国立現代美術館

県美プレミアム

収蔵品によるテーマ展

コレクション
ノアの方舟 — 蒐集による作品たち
3月22日(土)~7月6日(日)



澤田知子《ID400》(部分) 1998年 ©TOMOKO SAWADA, courtesy MEM

世界中の事物を自らのもとに集めようとする人間の志向は、古くから神話などの題材になってきました。「ノアの方舟」の神話もその代表的なものの一つです。本展は、ものやイメージを集めるコラージュ等の芸術表現、あるいは、当館に収蔵された個人蒐集家(しゅうしゅうか)によるコレクションをとりあげ、それぞれの蒐集の意味を解き明かしていきます。人はなぜ集めるのか。様々に姿を変えて表れる蒐集の形を通して、それを考えてみたいと思います。

関連イベント

■ こどものイベント 「わたしの方舟」^{はこぶね}

6月14日(土) 10:30 ~ 15:30

要実費・要申込

こどものイベント係 TEL 078-262-0908

■ 学芸員によるギャラリートーク

4月26日(土)、6月21日(土)

16:00 ~ (約40分) 参加無料・要観覧券

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜 13:00 ~ (約45分)

エントランスに集合 参加無料(内容により要観覧券)

お子さまを預けてゆつくり美術鑑賞はいかがですか?
当館内にて一時保育を実施!!

4月26日(土)、5月11日(日)、21日(水)、29日(木)
詳しくは、「NPO法人子育て家族サポートふるーる」
要予約・有料 kako-o-kako@m6.gyao.ne.jp
TEL 090-3948-3719/FAX 078-755-0973
<http://www.artm.pref.hyogo.jp/hoiku/index.html>

イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

■ 美術館の調べ

4月5日(土)

小西千恵子・佐田めぐみ

デュオコンサート

~ Collection of our Favorites ~ 小西千恵子 佐田めぐみ

<演奏曲目> バッハ「ソナタ変ホ長調」/バートン「フルートとピアノのためのソナチネ」/ブーランク「エディット・ピアフを讃えて」ほか

<演奏者のひと言> カナダから帰国して久しぶりに佐田さんと演奏させていただきます。とても楽しみです(小西)。◎小西千恵子(フルート。大阪芸術大卒。カナダ・バンクーバー在住。CD「The Ocean in Spring」をリリース) ◎佐田めぐみ(ピアノ。大阪音楽大学部専攻科修了。第27回摂津音楽祭伴奏賞受賞)

アトリエにて 14:00 ~ 無料

■ 美術館の調べ

4月12日(土)

ヴァイオリン、クラリネットとピアノによる春のコンサート

<演奏曲目> ストラヴィンスキー「兵士の物語」/ハチャトゥリアン「三重奏曲」ほか

<演奏者のひと言> 少し珍しい編成のトリオです。弦、管、鍵盤楽器と、各々異なる音色が織りなす響きを味わってください。◎辻本恵理香(ヴァイオリン。大阪音楽大卒) ◎高橋由有子(クラリネット。大阪音楽大卒。三田市総合文化センター郷の音ホールレジデンシャル・アーティスト) ◎和泉真子(ピアノ。大阪音楽大卒、同大学院修了)

アトリエにて 14:00 ~ 無料

■ 美術館の調べ

4月19日(土)

泉麻衣子 ピアノリサイタル

<演奏曲目> ショパン「エチュードより」/ラフマニノフ「ピアノソナタ第2番」ほか

<演奏者のひと言> ピアノの名曲を演奏させていただきます。お楽しみいただけましたら幸いです。◎泉麻衣子(ピアノ)。京都市立芸術大大学院修了。フライブルク音大大学院留学)

アトリエにて 14:00 ~ 無料

■ 美術館の調べ

4月26日(土)

400回記念

ピアノトリオ オリオン リサイタル

<演奏曲目> ベートーヴェン「ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 作品11<<街の歌>>/アレクシキー「ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 作品32」

<演奏者のひと言> 美術館という素晴らしい場所で演奏できることを大変嬉しく思います。ピアノトリオの調べ、どうぞお楽しみ下さい。◎ピアノトリオオリオン=久津那綾香(ヴァイオリン。京都市立芸術大卒業。宝塚演奏家連盟会員)、孫工(まごく) 恵嗣(チェロ。京都市立芸術大大学院在籍)、菱谷祐衣(ピアノ。京都市立芸術大大学院在籍)

アトリエにて 14:00 ~ 無料



ピアノトリオ オリオン

四季シリーズコンサート<春>

4月27日(日)

雁瀬由香&大木有子

ジョイント・コンサート

~ピアノとソプラノの調べ~

<演奏曲目> グリーグ「春に寄す」/リスト「ハンガリー狂詩曲第12番」/下村正彦「あぜ道に」ほか

<演奏者のひと言> 春を感じ、愛を感じていただけような音楽を心をこめてお届けします。◎雁瀬由香(ピアノ。桐朋学園大、ドイツ国立デトモルト音楽大卒業。全ドイツ音楽大学コンクールのデュオ部門第1位受賞) ◎大木有子(ソプラノ。国立音楽大卒業。神戸クラシック協会、神戸音楽家協会各会員)

アトリエにて 14:00 ~ 全席自由2,000円



雁瀬由香 大木有子

■ 美術館の調べ

5月3日(土・祝)

内藤裕子 ピアノリサイタル

<演奏曲目> リスト「巡礼の年 第1年『スイス』より『オーベルマンの谷』/内藤裕子「2つの小品(2013)」ほか

<演奏者のひと言> 新緑薫るゴールデンウィークの午後のひととき、ピアノの描きだす音の風景をお楽しみください。◎内藤裕子(ピアノ。京都市立芸術大、同大学院卒業。09年京都市芸術文化特別奨励者。第32回姫路市芸術文化奨励賞受賞)

アトリエにて 14:00 ~ 無料



内藤裕子

■ 美術館の調べ

5月10日(土)

山口彩葉 ピアノリサイタル

<演奏曲目> ベートーヴェン「ピアノソナタ第30番 作品109」/ラフマニノフ「前奏曲集より」ほか

<演奏者のひと言> 新緑の風のにせて、ベートーヴェンの洗練された後期ソナタをはじめ、魅力溢れる作曲家たちの世界をお届けします。◎山口彩葉(ピアノ。大阪教育大大学院修了。KOBE国際音楽コンクール、神戸新人音楽賞コンクール(優秀賞受賞)

アトリエにて 14:00 ~ 無料



山口彩葉

■ 美術館の調べ

5月18日(日)

福嶋令奈

ヴァイオリンリサイタル

<演奏曲目> クライスラー「中国の太鼓」/モーツァルト「ヴァイオリンソナタ第25番 長調」ほか

<演奏者のひと言> 親しみのある名曲の中から、ヴァイオリンの魅力が味わえるおススメを集めました! ◎福嶋令奈(ヴァイオリン。京都市立芸術大卒業。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー兼フォアシュピラーを経て宝塚歌劇団オーケストラ団員) ◎黒田麻友(ピアノ。大阪教育大卒業。同大学院修士課程修了)

アトリエにて 14:00 ~ 無料



福嶋令奈 黒田麻友



泉麻衣子

■ 美術館の調べ

5月25日(日)

高原いつか メゾプラノコンサート

～愛する詩(うた)～

<演奏曲目> 千原英喜「はっか草」/高田三郎「くちなし」ほか

<演奏者のひと言> 日本歌曲を中心に、心温まる詩と音楽をお届けします。愛がたくさん詰まった優しい詩の世界です。

◎高原いつか(メゾプラノ)。愛知県立芸術大音楽学部卒業。神戸市混声合唱団団員。神戸新聞文化センター講師 ◎長谷川千彰(ピアノ)。神戸女学院大卒業。加古川音楽家協会会員
アトリエにて 14:00～ 無料



長谷川千彰

■ 世界の音楽

5月31日(土)

hatao & nami

笛とハープで奏でる
ケルト・北欧の旋律

<演奏曲目> 結婚行進曲
(ノルウェー伝承曲) / 恋

のわずらい(スコットランド伝承曲) / 自由な鳥(hatao & nami)

<演奏者のひと言> ヨーロッパのケルト文化圏やスカンジナビア半島から選りすぐったメロディを想像力豊かに編曲。民族楽器の温かい音色でお届けします。5月に待望の1stアルバム“Silver Line”を発表。息の合った2人が奏でる、詩情あふれる音楽をお楽しみください。◎hatao(ケルト・北欧の様々な笛) ◎nami(ピアノ、ハープ)
アトリエにて 14:00～ 無料



hatao & nami

舞台芸術

■ 落語の会

4月13日(日)

県美亭ワンコイン寄席

～とかく人情が薄くなったなあ
と言われる今日この頃～

<口演演目> 露の吉次「鹿政談」 露の慎悟「藪入り」
<吉次のひと言> 天下の悪法に胸のすくようなお奉行さん登場。情のこもった名裁きは如何に(鹿政談)。正月とお盆に奉公人が暇をもらって親元に帰れることを藪入り。けなげな子供と親子の情愛に乾杯(藪入り)

◎露の吉次(つゆの・きちじ。尼崎市出身。関西大卒。昭和62年、露の五郎兵衛に入門) ◎露の慎悟(つゆの・しんご。宝塚市出身。県立宝塚高校卒。昭和42年、露の五郎兵衛に入門。競艇レポーターとしても活躍)

レクチャールームにて 14:00～
500円(当日13:00から販売)



露の吉次 露の慎悟

シネマサロン

■ KEN-VI名画サロン

4月12日(土)

「もうひとりの息子」

東京国際映画祭 グランプリ
&監督賞 受賞作品

出生時に取り違えられた

2人の息子。ひとりはいзраエル、もうひとりパレスチナ。その事実が明らかになったとき、2つの家族は?根深い対立を越え、世界が希望を見出した感動の名作。

(2012年フランス 1時間45分)

<監督・脚本> ロレーヌ・レヴィ

<出演> エマニュエル・ドゥヴァノス、パスカル・エルベほか

ミュージアムホールにて

①10:30 ②13:15 ③15:30(各回入れ替え)

1人 1,000円 「芸術の館友の会」会員500円



© Rapsodie Production/ Cité Films/ France 3 Cinéma/Madeleine Films/ SoLo Films

■ 県美シネマクラシック フランス映画特集

5月23日(金)

「巴里の屋根の下」 10:30～

ルネ・クレール監督のトーキー第1作。パリの下町をオープンセットで再現し、男たちが恋を争う。庶民のほのぼのとした情感、その風俗と雰囲気伝える演出が冴える。



(1930年)

<監督・脚本> ルネ・クレール

<出演> アルベール・ブレジャン、ポーラ・イレリ

「嘆きのテレーズ」 13:00～

シモヌ・シニョレの出世作。原作はエミール・ゾラ。自然主義文学の最高峰を、巨匠マルセル・カルネが現代風に映画化。病弱な夫をよそに若い男と恋に落ち、夫の殺害を企てるテレーズ。

(1952年)

<監督> マルセル・カルネ

<出演> シモヌ・シニョレ、ラフ・ヴァローネ

「恐怖の報酬」 15:00～

クルーゾー監督の手に汗を握る傑作サスペンス。南米の油田で発生した大火災を消火するため、いつ爆発してもおかしくないニトログリセリンをトラックで運ぶ男たち。

(1953年)

<監督> アンリ=ジョルジュ・クルーゾー

<出演> イヴ・モンタン、シャルル・ヴァネル

ミュージアムホールにて 1作品500円

各主催者によるイベント

■ ドキュメンタリー映画上映会

「かみさまとのやくそく」

4月6日(日)

ミュージアムホールにて

①11:30～13:30(11:00開場)

②14:30～16:30(14:00開場)

入場料:1,200円 主催:(株)スマイルズ

問合せ先:078-733-3676

■ 第36回 国際書画関西展

4月9日(水)～13日(日)

ギャラリーにて 10:00～18:00(13日は15:00まで)

入場料:無料 主催:国際書画連盟

問合せ先:03-3837-4445

■ まさゆめProject 報告会

4月13日(日)

ミュージアムホールにて 13:30開演(13:00開場)

入場料:無料 主催:NPO法人しゃらく

問合せ先:078-735-0163

■ SaxSox First Concert

4月13日(日)

アトリエ1にて 15:00開演(14:30開場)

入場料:一般2,000円 学生1,500円

主催:SaxSox 後援:高見楽器工房

問合せ先:090-2068-9963

masamisax@yahoo.co.jp

■ 第9回現代仏教美術会展

4月24日(木)～27日(日)

ギャラリーにて 11:00～17:30(27日は11:00～16:00)

入場料:無料 主催:NPO法人関西仏教美術会

問合せ先:078-241-1202

■ 震災と防災を考えるシンポジウム

4月26日(土)

ミュージアムホールにて 13:30～17:30

入場料:無料

主催:近畿不動産鑑定士協会連合会

問合せ先:06-6203-2100

■ MAYO個展「花の生涯」

5月2日(金)～6日(火・振休)

アトリエ1にて 10:00～18:00(6日は15:00まで)

入場料:無料 主催:MAYO

問合せ先:090-7960-8552

■ 稲田峻 展 … 二十四節気の中で…

5月3日(土・祝)～11日(日)

ギャラリーにて 10:00～18:00(11日は16:00まで)

入場料:無料 主催:稲田峻

URL: <http://hccweb6.bai.ne.jp/syun-inada/>

問合せ先:masa.nao.yume@gmail.com

■ 中学校美術Q&Ain兵庫

5月10日(土) 13:00～18:00

5月11日(日) 10:00～16:00

1日目 レクチャールーム

2日目 午前:レクチャールーム 午後:アトリエ1・2
参加費:一般2,000円 学生1,000円

主催:中学校美術ネット

URL: <http://jhsart.net/>

申込み: http://jhsart.net/?page_id=7739

問合せ先:info@jhsart.net

■ ギタリスト稲垣稔史を偲んで…

追悼 星に届けるコンサート(ギターとフルート)

5月17日(土)

アトリエ1にて 15:00開演(13:30開場)

入場料:2,000円

主催:星に届けるコンサート実行委員会

問合せ先:078-992-4367

seishinguitar@gmail.com

■ 尾形幸子ボタニカルアート教室作品展

～四季の植物を描く～

5月27日(火)～6月1日(日)

ギャラリーにて 10:00～18:00(1日は16:00まで)

入場料:無料 主催:尾形幸子

問合せ先:072-627-6405

美術館の日イベント

4月26日(土)・27日(日)

平成14年4月、HAT神戸に美術館が開館したのを記念して、毎年4月に「美術館の日」として多彩なイベントをおこなっています。

グッズをゲットできる「キーワードパズル」や、普段は気付かない美術館の見どころをミュージアム・ボランティアが案内する「七不思議ツアー」、「絵本の読み聞かせ」などのほか、美術館開館以来の展覧会を振り返る「ポスター・チラシでたどる歩み」のコーナーもあります。ご家族揃ってぜひお越しください。詳しくは、当館ホームページやイベントチラシでご確認ください。

ミュージアムロード ニュース

■ ミュージアムロードのシンボルオブジェが完成!

兵庫県が設置を進めてきた、ミュージアムロードのシンボルオブジェ。とうとうオブジェが完成し、3月29日(土)にそのお披露目式が行われました! オブジェの制作を担当されたのは、京都造形芸術大学教授の椿昇さん。

椿さんは作品設置にあたり、「ミュージアムロードの休息スポットとして、すえながく平和な国であってほしいと願ってこの作品を作りました」とコメント。シンボルオブジェは高さ約4m、長さ約8m、大きなサヤエンドウのデザインです。ミュージアムロードの楽しい休息スポットとしてご利用いただけます。兵庫県立美術館やミュージアムロードを訪れる皆様、新しいオブジェにご注目下さい!



椿昇「PEASE CRACKER」イメージ図

